

目黒区地域公共交通会議 議事概要

名 称	令和3年度 目黒区地域公共交通会議（第1回）
日 時	令和4年3月22日（火）10:00～11:15
会 場	中目黒住区センター室 第5・6会議室 （目黒区中目黒2-10-13 中目黒スクエア内2階）
出席者	委員の出欠については、別紙「出席者名簿」のとおり 事務局 都市整備部みどり土木政策課 高橋、山下、角田 株式会社オリエンタルコンサルタンツ 3名
会議の公開 非公開	公開
傍聴者	0人
配付資料	資料1 目黒区地域公共交通会議委員名簿 資料2 目黒区地域公共交通会議設置要綱 資料3 目黒区地域公共交通会議傍聴要綱（案） 資料4 目黒区の現状と課題 資料5 地域交通導入に向けた地域の取組経過 資料6 今後の進め方
会議次第	1 開会 2 委員紹介 3 目黒区地域公共交通会議設置要綱及び傍聴要綱 4 報告事項 （1）目黒区の現状と課題について （2）地域交通導入に向けた地域の取組について （3）今後の進め方について 5 その他 6 閉会

会議の経過及び発言内容

【議事進行】

次第 1 「開会」

会長（都市整備部長）より挨拶。

次第 2 「委員紹介」

資料 1 「目黒区地域公共交通会議委員名簿」のとおり、事務局より報告。

次第 3 「目黒区地域公共交通会議設置要綱及び傍聴要綱」

資料 2 「目黒区地域公共交通会議設置要綱」及び資料 3 「目黒区地域公共交通会議傍聴要綱（案）」の概要について事務局より説明。

【補足説明】

- 会長 目黒区地域公共交通会議設置要綱第 4 条の会長代理として学識経験者稲垣委員を指名させていただく。
- 委員 異議なし。
- 会長 目黒区地域公共交通会議傍聴要綱（案）について、出席委員の了承を得て、本会議を公開とし、傍聴可能とします。本日の傍聴希望者はいません。
- 委員 異議なし。

【議事進行】

次第 4 「報告事項（1）目黒区の現状と課題について」

資料 4 「目黒区の現状と課題」の概要について事務局より説明。

次第 5 「報告事項（2）地域交通導入に向けた地域の取組について」

資料 5 「地域交通導入に向けた地域の取組経過」の概要について事務局より説明。

次第 6 「報告事項（3）今後の進め方について」

資料 6 「今後の進め方」の概要について事務局より説明。

【質疑応答】

- 委員 地域交通導入の課題として採算性などが挙げられていたが、安全性についても一つあると思う。乗務員の安全性について厚生労働省からも改善基準を示されている状況であり、地域交通導入検討の中で地域の方にもバス乗務員の採用・労働状況についての理解を頂きたい。

- 会長 バスやタクシーの乗務員状況についても区民の方に周知したい。
- 委員 資料4の『6. アンケート調査による移動不便地域』の右図は、青色の薄い地域はそれほど不便でないという認識でよいのか。
- 事務局 青色の薄い所は特に意見がなかったところである。1回のアンケートでは回答が十分でない部分もあり、駒場地区などでは後日別途アンケートを取ったが、やはり目黒区においてはそれほど不便を感じていない方が多いとも見られる。
- 委員 取組地区はあまり反応がなかった地区なのではと思ったが、アンケートの精度等からその点はあまり気にしなくてよいと理解した。今後運行を継続していくことを考えると、将来的な都市計画に絡めることや自動運転など、現行の事業者と違ったビジョンを付加することで、補助金や事業の継続にもつながるのではないかと思う。
- 会長 高齢化率などから考えると、利便性というよりも、坂道が多い中での高齢者の近隣への買物や通院といった福祉的な利用の側面が強まってくると思う。介護タクシー等の福祉サービスもあるが、そこまではいかなない中間的な部分のニーズを行政としても検討していかなければならない。地域住民の意見が必要となるので、ぜひ色々ご意見を頂きたい。
- 委員 『6. アンケート調査による移動不便地域』の図について、回答数が多い地域では不満の数も多くなるので、本当に不便を感じている方がどれだけいるかというのをよくたどるべきである。目黒区は他の市に比べ交通網が充実している方であり、本当に利用してもらえぬ地域交通を作るには、例えば健常者の方のちょっと不便であるという意見よりも、高齢者や障害者の方の本当に困っているという意見を重視していく必要があると思う。
- 会長 障害者の方などについては別途、福祉サービスの中で検討がされているが、ニーズについては確かに詳細な把握が必要であるので、アンケートだけでなく地域住民の意見をよく聞いていきたい。
- 委員 目黒区の取組の特徴としては、元々交通の便がよい中で新たなモビリティを走らせるという点、区が具体的に支援のサポートの姿を提示している点、地域の中ですでに綿密な検討が進められている点であると思う。その中で課題として感じたのは、一つは現状の把握について。きめ

細やかなモビリティを考えるにあたり、町単位での分析ではまだ解像度が粗く、例えば不便地域についても詳細な地点まで把握できる方がよいので、先程もあったように地域住民からの意見というのが重要になる。

二つ目は既存の路線バスとの組み合わせについて。すでに路線バスが充実している中でどういった形で走らせるのか検討が求められる。東部地区の検討資料の中で、既存路線の活用、役割分担をすでに意識されているとは見られるので、それをどのように情報提供し検討に載せていくのかということと、同時にバス停留所の設備など道路整備に関わる部分も検討が必要になっていくかと思われる。

三つ目は地域の方々との関わり方。現在検討に参加している方々だけでなく、参加意識は高くないが実際の利用が見込まれる方やその家族の方々にも、新しいモビリティがどういったものか、生活がどう変わるのかというイメージが理解されるように情報提供していくべきである。

- 会長 目黒区は交通が充実していると考えていたが、平成30年3月に議会で陳情が採択になり、担当係が作られた。他の自治体では地域交通は赤字が多いと承知しているが、まずは街づくりの一環として、住民で検討していきたいとスタートした。東京都でも地域交通在り方検討会が設置され補助金が出るようになったので、ぜひ目黒区でも議論していきたい。本日の説明を受けてご意見や疑問点があれば、会議後一週間程度でメール等で頂戴したい。

【議事進行】

次第「5 その他」

- 会長 新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、今後もリモート参加を併用した会議開催としたい。

- 委員 リモート参加を含めた出席委員からは、反対意見等はなかった。

次第「6 閉会」

- 事務局 運行ルート素案については、今後、交通管理者・交通事業者・道路管理者等の方々に個別にご意見を頂いた上で再度ルート修正案を検討し、6月頃には協議会を開催して委員の皆様を確認いただきたい。

次回の会議でリモート参加希望の方は、事前に事務局へ連絡いただきたい。また、4月以降、人事異動等で委員名が変更したら連絡をお願いしたい。

以上